

北海道から世界へ、馬油製品を発信

アスリートも取り入れているという馬油の効果・効用を活かして、お土産品としてだけでなく、日常使いができる馬油として企画・開発、製造している。馬油による北海道ブランドとして、北海道から世界へ発信。



▲東京ビッグサイトで開催された「東京ギフトショー」の北海道・札幌ブースに出展



▲ライラックの市場づくりも視野に入れている



▲馬油シャンプー&コンディショナー「LUCKY LILAC」

ラベンダー、ミントに次ぐ、第3の北海道の香りとしてのライラック～札幌の木「ライラック」の香りの馬油シャンプーの開発～

香港からの問い合わせメールから始まった技術開発。

100%馬油でつくった「北国馬油」を製造・販売している株式会社北海道セレクトが今回取り組んだのは、馬油を使ったシャンプーの開発だ。きっかけは、馬油はホテルや温泉などのお土産で大人気なのだが、「シャンプーはないの?」という問い合わせが多かったことから、次に新しい商品をつくるとしたらシャンプーにしようと考えていたそう。

そして、シャンプーの香りは北海道らしく、ラベンダーかミントに…と考えていたところ、代表の板垣さんは友人にライラック農家がいることを思い出した。しかも、ライラックは札幌市の木で、市場にもライラックの商品はほとんど出ていないことから、「ライラックの香りのシャンプー」に方向性は決まった。

しかし、ライラックの精油はつくるのが大変難しいことがわかり、また世界的にもつくられていないことがわかった。そこで、精油は断念して合成香料でライラックの香りを再現することにしたのだが、イメージ

通りの「ほんのりとしたライラックの香り」を選定するのに大変苦労したという。

2019年6月から取り組み、2020年2月1日にシャンプーは完成。ライラックの小さな花ビラは通常4枚なのだが、時々5枚のものがあり、それをラッキーライラックと呼び、見つけると幸運を招くと言われている。商品名「LUCKY LILAC」はそれが由来だ。

札幌市民も気づいていないライラックの香り。

「札幌市の支援でつくった商品なので、ライラックを採用することは札幌にも貢献することができます」と話してくれた板垣さん。北海道らしい香り代表として、ラベンダーとミントは、あらゆる商品に使われているが、今回のシャンプーをきっかけに、ライラックを北海道の三大香りにまで引き上げたいという。

ただ、ライラックは木になっている時は香るが、切ってしまうと途端に香りがしなくなるという特徴があるので、ドライフラワーにしても香りが残らず、加工品にするのにはまだまだ課題がたくさんあるという。

支援のおかげでギフトショーに出展することができました。

株式会社北海道セレクト
代表取締役
板垣 吉美



この度の支援では、商品開発だけでなく、商品完成後に東京で開催された「東京ギフトショー」の北海道・札幌ブースに出展することができました。これは一企業では出られなかったと思います。機会を与えてもらえてとてもうれしかったです。